

政策・土木交通常任委員会 県内行政調査

1 調査日 平成 25 年 1 月 24 日（木）

2 調査の概要

（ 1 ）びわこ地球市民の森（守山市今浜町地先）

びわこ地球市民の森は、野洲川新川の完成で廃川となり、平地化事業の行われた南流の一部を、かつて身近にあった「豊かな森」として、平成 12 年度から平成 31 年度までの 20 年間という長い年月をかけ、世代を越えて再生すると同時に、ビオトープとしての生態系を復元することを目的として、4 つのゾーン（つどい、ふれあい、出会い、里の森）に分けて、整備が行われている。

また、ここでの森づくりは、県民（県外者・事業者も含める）と行政とが協働（パートナーシップ）で進めることとされており、植栽基盤を含む都市公園施設は県で整備を行い、県民は苗木の植樹および育樹の活動を継続していく仕組みで進められていることから、全体の事業概要と各ゾーンにおける事業の進捗状況について調査を行った。



（ 2 ）佐川美術館（守山市水保町）

佐川美術館は、1998 年（平成 10 年）に佐川急便創立 40 周年を記念して開館した美術館である。

美術館の敷地は、大部分が水庭（人工池）になっており、水の上に浮かぶように見える切妻屋根の展示館のデザインが高く評価されている。また、日本画家の平山郁夫氏や彫刻家の佐藤忠良氏、陶芸家の樂吉左右衛門の展示館を設け、テーマに沿った収蔵品紹介を行う一方、特別展示室ではジャンルにとらわれず、年数回の企画展を開催するなど、県内の特色ある美術館の一つであることから、現在検討されている新生美術館基本計画を議論する上での参考とするために、当該美術館の運営方針と施設の概要について調査を行った。



(3) 県立近代美術館(大津市瀬田南大萱町)

現在検討されている新生美術館基本計画(案)において、新生美術館の機能の実現のために、既存施設である近代美術館の改修や新館の増設など、大規模な施設整備が検討されていることから、今後の新生美術館基本計画を議論する上での参考とするために、近代美術館の既存施設や周辺地の状況について調査を行った。

